

就 職

◎企業数



※中小企業庁ホームページ 2016年時点

◎初任給（千円）



※令和4年度賃金構造基本統計調査

◎通勤時間



※令和3年社会生活基本調査結果

◎平日における平均帰宅時間



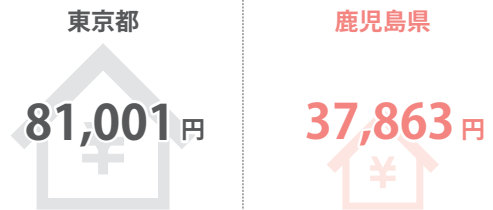
※令和3年社会生活基本調査結果

MEMO :

東京の企業数は鹿児島の約 8.4 倍！東京では自分の興味のある企業を見つけやすく、鹿児島では企業数が少ないため、業種によっては就職活動は苦勞するかもしれません。初任給は東京が高卒で約 3 万円高く、大卒では鹿児島県が約 1 万円高くなっています。通勤時間は鹿児島が約 32 分短く、また、移動手段は鹿児島は多くが自家用車、東京は電車（しかも満員）であると考え、時間以上に変です。平均帰宅時間は鹿児島の方が 1 時間 19 分早く、プライベートの時間を多く持てそうです。

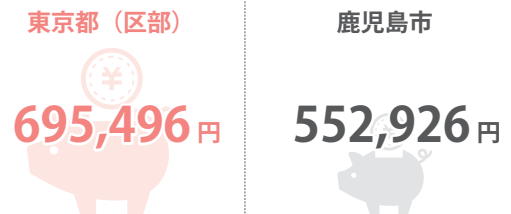
家 計

◎家賃



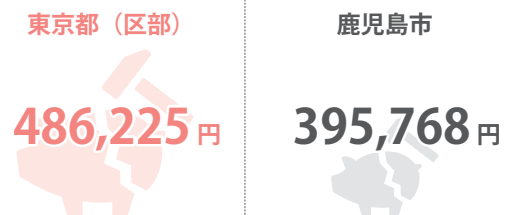
※平成30年住宅・土地統計調査

◎1か月の実収入（2人以上の勤労世帯）



※総務省統計局家計調査年報 2022 年

◎1か月の実支出（2人以上の勤労世帯）



※総務省統計局家計調査年報 2022 年

MEMO :

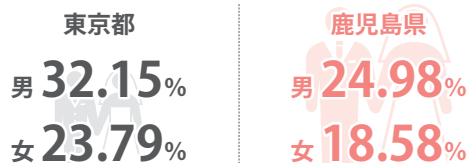
家賃は東京の方が約 2.1 倍高いようです。家賃のような固定費が高いほど生活が苦しくなるため、部屋選びは慎重にする必要があります。

2人以上の勤労世帯の1か月の実収入と実支出を比べてみると、東京は収入も多のですが、支出も多くなっています。仕事とプライベートのバランスを考えてみるのも大切です。

東京と鹿児島の生活を「見える化」

結婚・出産・子育て

◎未婚率



※国立社会保障・人口問題研究所／人口統計資料集（2023 改訂版）

◎合計特殊出生率



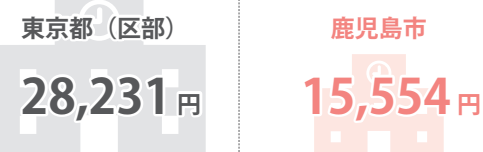
※令和4年人口動態調査

◎出産費用（正常分娩の場合の平均）



※令和2年度厚生労働省保険局

◎1か月間の教育費（2人以上の勤労世帯）



※総務省統計局家計調査年報 2022 年

MEMO：

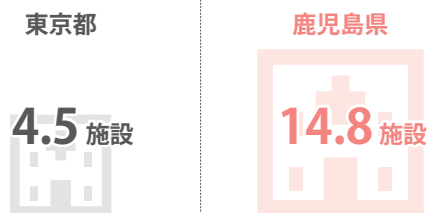
未婚率は男女とも東京の方が高く、合計特殊出生率は東京が1.04人、鹿児島が1.54人となっています。

出産費用を見てみると、東京は鹿児島に比べ、約1.4倍高く、2人以上の勤労世帯の1か月間の教育費にいたっては約1.8倍となっています。

子育てや教育にかかる費用の負担や親族によるサポート等を考えると、鹿児島は東京と比べて、結婚・出産・子育てがしやすい環境と言えます。

生活

◎病院数（人口10万人当たり）



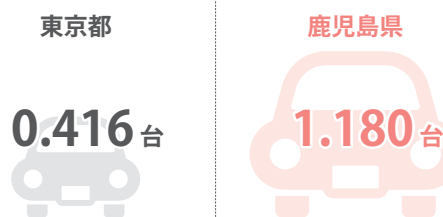
※令和3年医療施設調査

◎治安（人口千人当たり）



※令和5年犯罪統計より算出

◎自家用乗用車の保有台数（1世帯当たり）



※一般財団法人自動車検査登録情報協会調べ 令和5年3月時点

MEMO：

病院数は人口10万人当たり、東京の4.5施設に対し、鹿児島は14.8施設と全国でも多い病院数です。また、治安は人口千人当たりの刑法犯認知件数、窃盗犯認知件数ともに東京が全国の上位である一方、鹿児島は全国でも下位であり、安心して暮らせる環境であることがわかります。

自家用乗用車の保有台数を1世帯当たりで比べると、東京が0.416台、鹿児島は1.180台となっており、鹿児島で暮らすには各家庭に1台は車が必要となるようです。